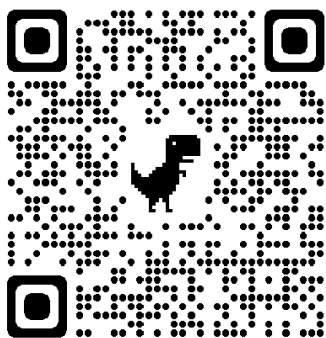


R 7 保護者向け学習会

令和 7 年 12 月 18 日
掛川市役所 4 階会議室

放課後等デイサービスの利用前に、考えておくべき**大切なことが 2 つ**あります。利用の仕方によっては、お子様に負担がかかってしまう可能性もあります。放課後の時間をよりよく過ごせるよう、2 ページ目以降にもぜひ目を通してください。



掛川市HP

放デイ申請の 手続きについて

放課後等デイサービスの対象となる方

- ・学校に通学していて、かつ下の条件を1つでも満たす児童
- ・障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)を持っている
- ・特別支援学校、特別支援学級に在籍しているもしくは通級している児童
- ・特別児童扶養手当を受給している
- ・医師の診断書または意見書がある

利用までの流れ(R 8 年度)

令和 8 年

1月

お子さんと一緒に事業所の見学をする。

利用予定の事業所を仮決定する。

※添付の事業所一覧を参照してください。

各自気になる ところへ連絡をして、動いていただく
必要があります。

2月以降

福祉課へ申請・面接予約の連絡をする
(面接の日程調整をする)。

2月中旬

福祉課で申請・面接をする。

3月

受給者証が発行される。事業所と契約する。

4月

サービスの利用開始

見学から申請までの流れ(R 8 年度)

掛川市HPをご覧ください。HPにて「児童通所サービス」と検索する。
または、左の二次元コードにて読み取ってください。

大切にしたい キーワード

「放デイと家庭と
地域で過ごす時間
のバランス」

「放デイ≠学童」
「放デイの目的は
療育」

放デイだけでなく、
家、地域の活動や遊び
場で過ごす時間も大切
にしましょう



① 利用の目的と頻度

「放デイはあくまで療育のための施設です」

放課後等デイサービス(放デイ)って
どんな施設？

◎療育施設 放課後の居場所 家族支援
×学習塾 習い事 友達作り 学童と同じ

○目的(役割)

・家庭や学校とは異なる環境で、コミュニケーションや社会性などの発達支援を行う療育の場

・こどもの地域社会での過ごし方、
他者との関わり方を学ぶための専門的支援

・子育ての悩み等に関する相談や
保護者の時間の保障



大切にしたいこと・・・

放デイで過ごす時間と、家や地域で過ごす
時間のバランス

例：小学校の友人と遊ぶ時間

自宅で家の手伝いをする時間、兄弟で遊ぶ時間

興味がある習い事をしている時間

留守番をする時間、家でゆっくりする時間

大切にしたい キーワード

「環境の変化」

「タイミング」

今の1年生、2年生でも
本人と家族、学校とも
話し合い、利用を見
送った方もいます。



② 利用するタイミング

「お子さんの状況に応じて利用しましょう」

園⇒学校という環境の変化

慣れない環境は**負担**を感じやすく**ストレス**となりやすい

登校：今までとは違う子、徒歩やバスなどの登校手段

学校：今までとは違うメンバー、先生、クラスの雰囲気
遊びから勉強に

例：本人の環境のストレスが大きいまま、放デイを含む新しいことを始め、学校等に行きたくなくなってしまう。

(放デイは、「学校に通っているこどもが放課後に使う」ことを想定した制度です)

⇒まずは、「**学校へ毎日行く**」という基盤を第一に！！

利用したいが始める
タイミングが難しいと悩まれる
方もいらっしゃると思います。

悩んだときは・・

まずは福祉課に相談。
必要に応じて、市の委託相談にも
入っていただきながら、一緒に考え
させていただきます。

福祉課での放デイの申請は、
随時受付しています。



大切にしたい キーワード

「放デイの見学は
こどもと一緒に！」

過去の事例です。
少しでも参考になりましたら
幸いです。



過去の事例③

家から近く通いやすいところを探して、放デイAを選んだ。
しばらくすると、こどもが「行きたくない」。

別の事業所を探して放デイBに変えたら、こどもが楽しんでいくようになった。
事業所によって、環境や雰囲気が変わるので、
通いやすいところではなく、“**こどもに合う事業所**”
を探すことが大事だと思った。



③ 過去の事例

過去の事例①

もともと放デイを使う予定でいたが、
学校に慣れてから始めることにして保留。
1年生の夏休み明けから放デイの利用を開始。
“他の子に関心がない”
“自分の思っていることを表現できない”
ことが課題だったが、放デイカリキュラムにマイペース
ながらも楽しそうに参加できている。
こういう場が、コミュニケーションや
表現することの良いトレーニングに
なっていると思う。



過去の事例②

小学校入学時から月～金曜日で毎日放デイを利用。
高学年になり、とある事情で利用ができなくなった。
今まで放課後の時間を放デイでしか過ごしていなかった
ため、児童が「友達との遊び方がわからない」
結果、家の中で過ごすことしかできなくなってしまった。

放デイ以外の放課後の過ごし方も、
経験させておけばよかったかもしれない。

